BE KOBE

市長定例会見

2025年４月10日

今日お伝えしたいこと

BE KOBE

１．新型コロナウイルス感染症対策 対応検証と備え

２．震災30年を未来につなぐ

－持続可能なグローバル貢献都市へ－

３．新東川崎ポンプ場が稼働開始

－三宮～神戸エリアの浸水対策が完了しました－

新型コロナウイルス感染症対策 対応検証と備え

流行性感冒（内務省衛生局）

BE KOBE

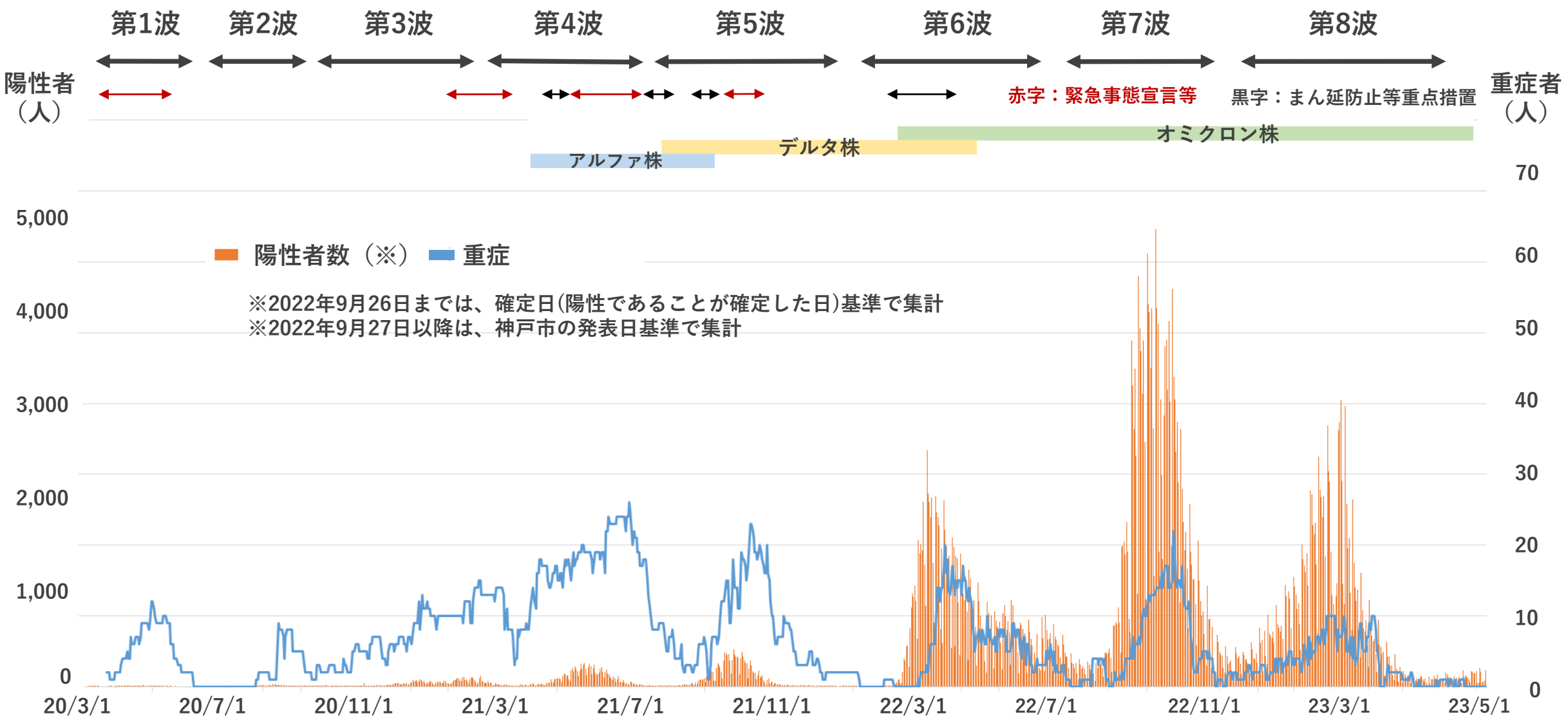
〇内務省衛生局による
　［スペイン風邪］大流行の記録（1922年）

〇1918～21年にかけて
　世界中で猛威をふるった「スペイン風邪」の
　流行の状況、予防、病理等を
　記録した調査報告書

平凡社HPより

陽性者と重症者の推移

BE KOBE



コロナの渦中より進めてきた検証

BE KOBE

第１次対応検証（2020年７月公表）

・第１波（2020年３～５月）

第２次対応検証（2021年12月公表）

・第２～５波（2020年６月～2021年12月）

第３次対応検証（2023年８月公表）

・第６～８波（2022年１月～2023年５月）

その都度検証を行い、次の危機への備えを実施

第１次対応検証 －第１波（2020年３月３日～５月20日）－

BE KOBE

次の波への備え	実施した対策
・相談センターの人員配置や開設時間延長等による相談体制の充実	・専用相談窓口職員の増員と24時間体制の整備
・検査体制の拡充	・シスメックスや神戸市医師会による検査センターを設置 ・環境保健研究所※の24時間体制の整備
・検査の専門的技術・知識を持った職員の確保	・環境保健研究所※の職員を増員（２名）
・適切な積極的疫学調査実施のための保健師の人員確保・人材育成	・保健師を増員（201 ➡ 300名）し、研修等による人材育成を実施

※現在の健康科学研究所

第１次対応検証 －第１波（2020年３月３日～５月20日）－

BE KOBE

次の波への備え	実施した対策
・院内感染防止と重症者に対する対応強化を図るための臨時病棟を整備	・中央市民病院の臨時病棟（36 病床）を開設（2020年11月９日）
・発熱救急患者の入院受け入れがしやすい環境を整備	・「こうべ病院安心サポートプラン」で医療機関を支援
・無症状者等の入院前待機施設として、宿泊療養施設を 100 室以上確保	・宿泊療養施設のさらなる確保（９施設 最大739室）
・熱中症患者による医療機関の逼迫を防止するため、熱中症の市民啓発を実施	・熱中症ガイドラインを作成、市民へ広く広報

第２次対応検証 －第２～５波（2020年６月23日～2021年12月31日）－

BE KOBE

次の波への備え	実施した対策
・ワクチン接種体制の整備	・集団・個別接種会場の設置 ・大規模接種会場の設置 （ノエビア・ハーバーランド） ・ワクチン接種予約お助け隊の配置
・外来受診の受入医療機関の確保	・自宅療養者の重症化防止のため受入医療機関による早期の外来受診
・外来受診が難しい場合の往診、電話診療の確保	・民間事業者を活用した電話・オンライン診療、往診を開始
・更なる宿泊療養施設の確保・酸素供給設備の強化	・宿泊療養施設に酸素供給設備を整備（４施設） ・要介護者等、配慮が必要な患者の受け入れ

第２次対応検証 －第２～５波（2020年６月23日～2021年12月31日）－

BE KOBE

次の波への備え	実施した対策
・自宅療養者の不安軽減のための フォローアップガイド作成	・フォローアップガイドを作成、 自宅療養者に配布
・自宅療養者支援の充実	・フォローアップチーム （事務職３名・看護職２名）を 各区に配置し健康観察 ・パルスオキシメータの貸出 ・食料等、自宅療養支援セットの配送
・積極的疫学調査の重点化、 全庁的な保健所応援体制の整備	・保健師による聞き取り調査を高齢者、 基礎疾患のある方等に重点化（第６波～） ・自宅療養者フォローアップセンターの設置 （2022年２月～）
・後遺症相談窓口の設置と実態調査	・新型コロナ後遺症相談ダイヤル開設 ・後遺症実態調査の実施

第３次対応検証 －第６～８波（2022年１月１日～2023年５月７日）－

BE KOBE

次の危機への備え	概要
・先を見据えた対応と情報共有の徹底	・感染の各段階に応じて予測・行動、 各関係機関との情報共有
・保健所の体制	・保健師300名体制の維持
・ゲノムサーベイランス	・健康科学研究所に蓄積された技術力の ブラッシュアップ ・新機材の導入、充実
・初動期の医療提供体制	・中央市民病院等で得られたエビデンス等を もとに、各医療機関に協力を要請
・事務・権限の委譲	・道府県から指定都市への権限移譲要望

残された課題

BE KOBE

○ 緊急時の交付金の交付手法

○ ワクチンの流通等の調整に関する権限

○ 臨時の医療施設の開設権限

➡ 指定都市市長会で要請
（2024年５月20日）

○ 外出自粛の要請のあり方

新たな感染症発生動向調査（2025年４月７日～）

BE KOBE

概　要

・国が新たに「急性呼吸器感染症（ARI）」を５類感染症に追加

・定点医療機関より自治体へ報告（神戸市では35定点医療機関）

市の対応

・定点医療機関（35定点医療機関のうち14機関）で検体を採取

・市健康科学研究所で多項目ウイルスPCR検査を実施

▶国マニュアルの12種類より手厚い、19種類のウイルス検査を実施

震災30年を未来につなぐ
― 持続可能なグローバル貢献都市へ ―

BE KOBE
震災30年を
未来につなぐ

震災30年事業の展開

BE KOBE

レジリエンスセッション
震災と未来のこうべ博

産学官連携による最新の
防災テクノロジーを体験

グローバルカンファレンス

U７各都市を招聘
災害への対応について議論

関連事業

震災30年を契機とした
約130の関連事業を実施

グローバル貢献都市の取り組みを国内外に発信

震災と未来のこうべ博（レジリエンスセッション）

BE KOBE

日　程

2025年４月26日(土)、27日(日)　10 ～ 17時

内　容

産学官連携による

最先端の防災テクノロジー等にふれるイベント

出展｜135 企業・団体（予定）

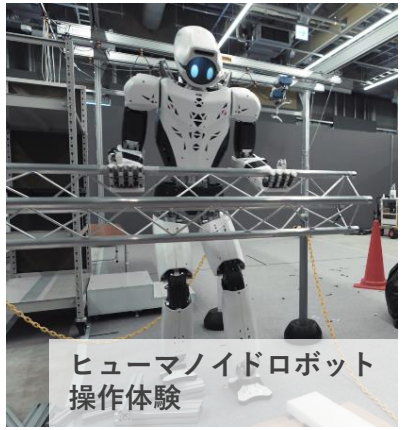
会　場

KIITO、みなとのもり公園、新港第１突堤西側、メリケンパーク

産学官による防災体験

BE KOBE

KIITO　最新テクノロジーと暮らしの防災


ヒューマノイドロボット
操作体験

防災メタバース体験

VR災害疑似体験

みなとのもり公園　楽しく学べる防災体験プログラム

防災アクティビティ

©ガチャムク
ガチャピン・ムックの
防災ステージ

VR地震体験車両

新港第１突堤　海の防災と乗船体験

「海神丸」への医療コンテナ
積載デモンストレーション

消防艇「くすのき」による
放水パフォーマンス

©独立行政法人海技教育機構
帆船「日本丸」見学会

メリケンパーク　陸・海・空の防災モビリティ

ヘリコプター見学・
搭乗体験

ドローンの操作体験・
デモンストレーション

災害時に役立つ
特殊車両展示

グローバルカンファレンス

BE KOBE

日　程

2025年４月28日（月）

場　所

神戸ポートピアホテル

プログラム

イメージ

- 基調講演（神戸市の経験、取り組み）

参加都市によるプレゼン、
自然災害等をテーマに意見交換

- 海外主要都市とのハイレベルセッション、パネルディスカッション
- [(仮) 神戸市グローバルカンファレンス宣言] 発出

参加者

BE KOBE

U７※を中心とした海外７都市を招聘

※ G7各国の都市連合で編成される連合体

東アジアの都市も
招聘に向けて調整中

<U７（アーバン７）>

ストラスブール ユーロメトロポリス（仏）、
コロンビア（米）、グラスゴー（英）、ハイデルベルク（独）、
ラクイラ（伊）、キッチナー（加）、ブラガ（EU）

<日 本>

さいたま市（指定都市市長会U7担当市）、神戸市

持続可能な社会の実現に向けた都市の役割について議論

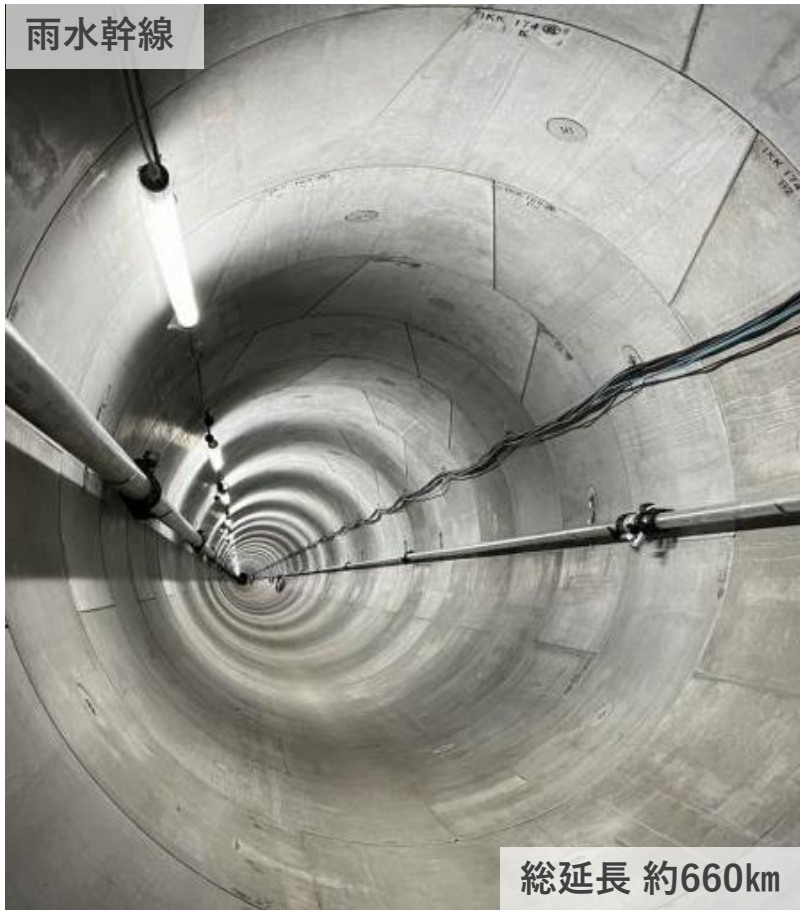
「レジリエントな都市」へと成長した神戸が

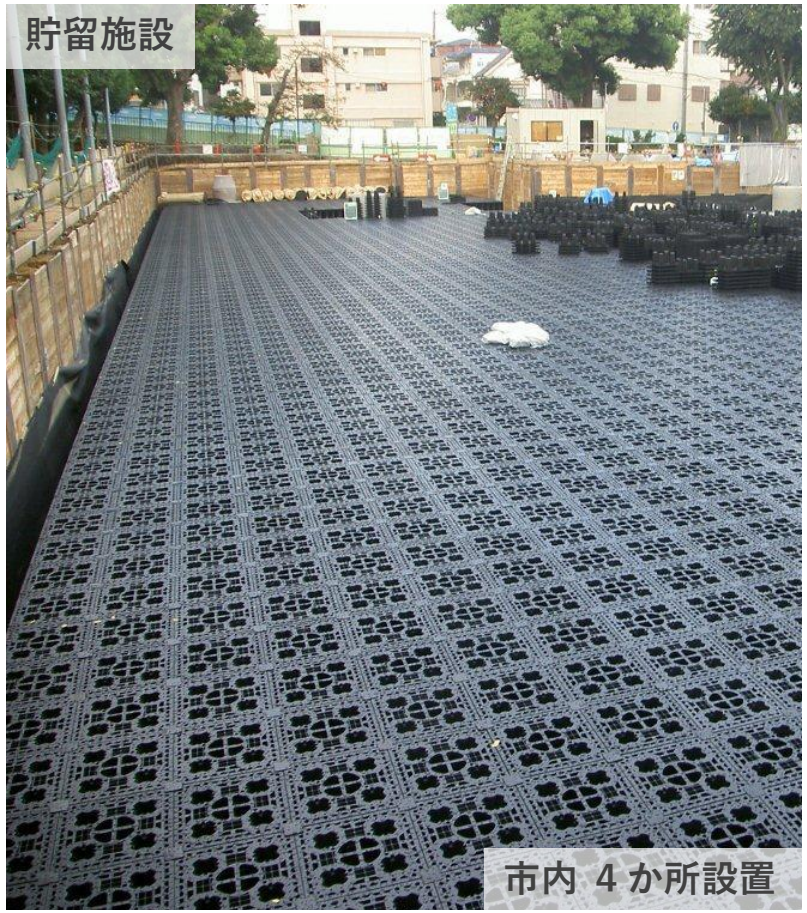
「グローバル貢献都市」としての取り組みを発信します

新東川崎ポンプ場が稼働開始
－三宮~神戸エリアの浸水対策が完了しました－

市街地での浸水対策

BE KOBE





市街地の雨水を
海や川へ排水する

雨水幹線だけでは
排水が困難な地域で排水を強化

雨水を一時的に溜めて
流出を抑制する

三宮・元町エリアにおける対策

BE KOBE

2004年９月 台風18号

国道２号冠水、建物の浸水被害など

2005年より
ポンプ場整備開始

2015年７月｜３つのポンプ場が全て稼働

2018年９月台風21号による水害

BE KOBE

東川崎町 湊小学校付近

国道２号 東川崎交差点

大規模な浸水被害を防ぐため、さらなる対策が必要

新東川崎ポンプ場が稼働 ～4月26日～

BE KOBE

三宮～神戸エリアの浸水対策が完了